

信州大学医学部附属病院 血液内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2021年7月6日

「成人急性リンパ芽球性白血病におけるトランスクリプトーム解析(JALSG ALL2020-EWS)」
に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部医倫理委員会の審査による医学部長の承認を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の
情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	706
研究課題名	成人急性リンパ芽球性白血病におけるトランスクリプトーム解析(JALSG ALL2020-EWS)
所属(診療科等)	血液内科
研究責任者(職名)	中澤英之(講師)
研究実施期間	倫理委員会承認日～2025年7月15日
研究の意義、目的	成人急性リンパ芽球性白血病(ALL)の発症や予後に関わる遺伝子変異を解析する研究です。遺伝子異常が ALL の病態や予後に与える影響を検討し、新たな分子標的薬開発等への発展を目指しています。
対象となる方	2002年から2010年に行われた臨床研究 JALSG ALL2020 に登録いただいた患者様
利用する診療記録／検体	JALSG ALL2020 で収集された診療情報、残余骨髄検体
他機関への試料・情報の提供方法	新たな提供はありません
研究方法	既存試料を用いてゲノムワイドの網羅的な遺伝子変異・SNP 解析を行います。
共同研究機関名	<ul style="list-style-type: none"> ・JALSG 代表:宮崎泰司(長崎大学原研内科・教授) ・JALSG データセンター 責任者:大竹茂樹(金沢大学大学院医学系研究科病態検査学・教授) ・JALSG 検体保存センター・埼玉 責任者:麻生範雄(埼玉医科大学国際医療センター造血器腫瘍科・教授)。 ・ALL202-O 研究事務局 責任者:早川文彦(名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座・教授) ・ALL202 委員会

	<p>委員長:早川文彦(名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座・教授)</p> <p>・遺伝子変異解析機関</p> <p>1. 東京大学医学系研究科ゲノム医学講座。実施責任者:間野博行(東京大学医学系研究科ゲノム医学講座 教授)</p> <p>2. 名古屋医療センター臨床研究センター臨床研究事業部 生体情報解析室。実施責任者:安田貴彦(生体情報解析室 室長)</p> <p>・研究倫理支援室</p> <p>東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センター 研究倫理支援室。室長:武藤香織(東京大学医科学研究所 公共政策研究分野 教授)</p>
研究代表者	<p>主任施設の名称:名古屋大学</p> <p>研究責任者:早川 文彦</p>
問い合わせ先	<p>氏名(所属・職名): 中澤 英之(血液・腫瘍内科学 講師)</p> <p>電話:0263-37-2554</p>

既存の検体や診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。